

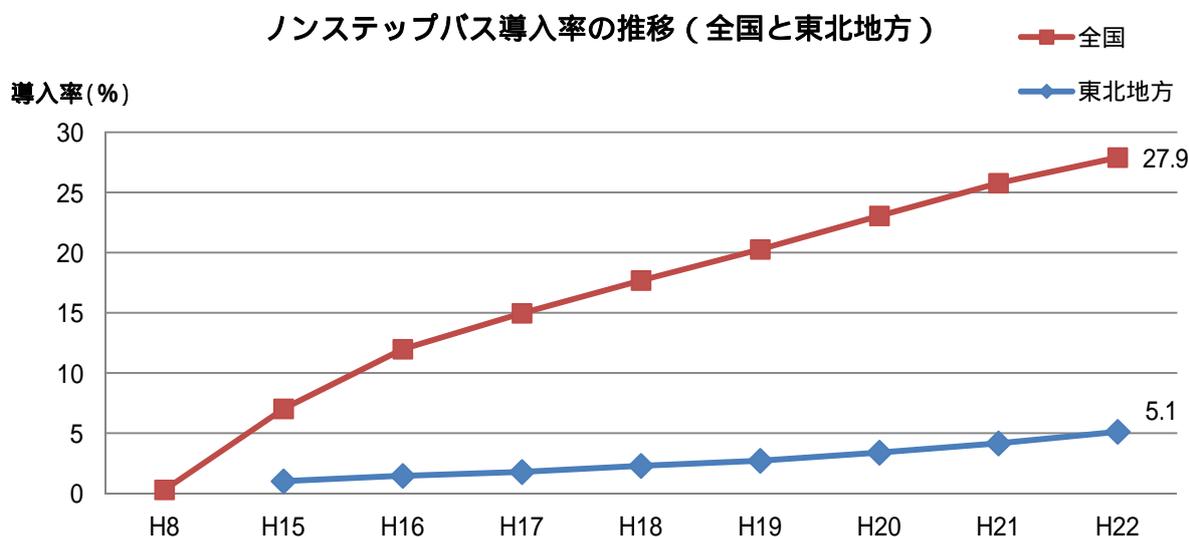
4章 ノンステップバス導入の現況

1. 全国のノンステップバス導入状況

平成9年以降、我が国では法令や各種支援制度を掲げてノンステップバスの導入促進に向けて各種施策を展開してきたところである。その結果、平成22年度末現在の全国のノンステップバス導入率が27.9%と、移動等円滑化の促進に関する基本方針の目標(平成22年末までに30%)に近づいた。しかし東北地方では導入率が5.1%と、全国平均を大幅に下回っており、その導入が遅れている。

全国のノンステップバス導入率の推移

全国のノンステップバス導入率は平成8年度(9年)に国産ノンステップバスが初めて導入されて以来、順調に推移しているが、一方で東北地方は、推移が鈍化しており、対全国との導入率の差が年々開いている。



年度末 現在	東北地方			全 国		
	総車両数	ノンステップバス 導入台数	導入率	総車両数	ノンステップバス 導入台数	導入率
H8				61,171	19	0.03%
H15	5,146	53	1.0%	58,335	5,432	9.3%
H16	5,067	74	1.5%	58,119	6,974	12.0%
H17	4,950	88	1.8%	58,430	8,639	14.8%
H18	4,944	113	2.3%	58,735	10,389	17.7%
H19	5,137	139	2.7%	60,252	12,216	20.3%
H20	4,961	168	3.4%	59,973	13,822	23.0%
H21	4,859	202	4.2%	59,359	15,298	25.8%
H22	4,708	241	5.1%	59,195	16,534	27.9%

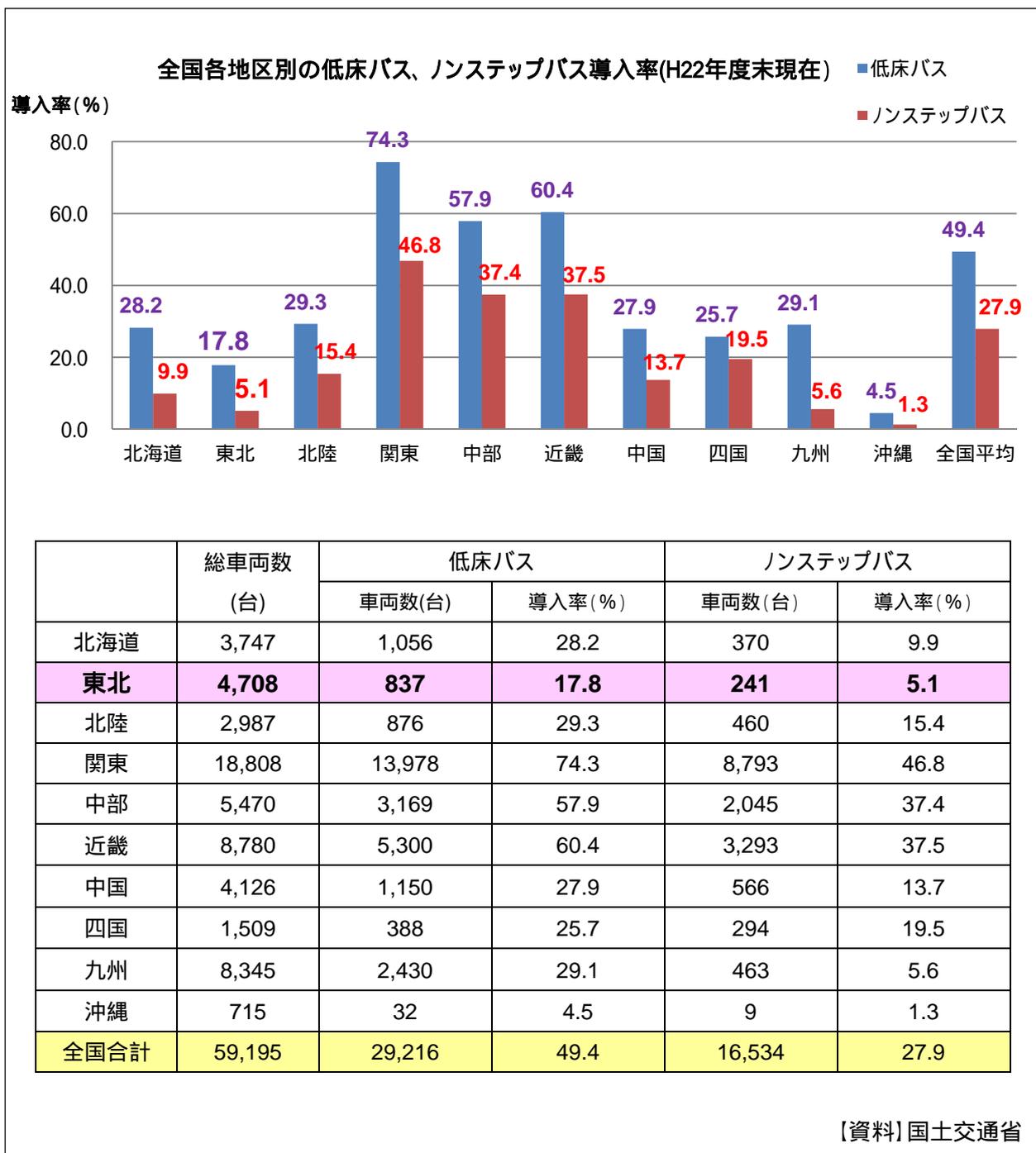
【資料：国土交通省】

全国の低床バス及びノンステップバス導入率

平成22年末までにノンステップバスを30%以上導入するという基本方針の目標を達成しているのは関東、中部、近畿の3地域のみである。

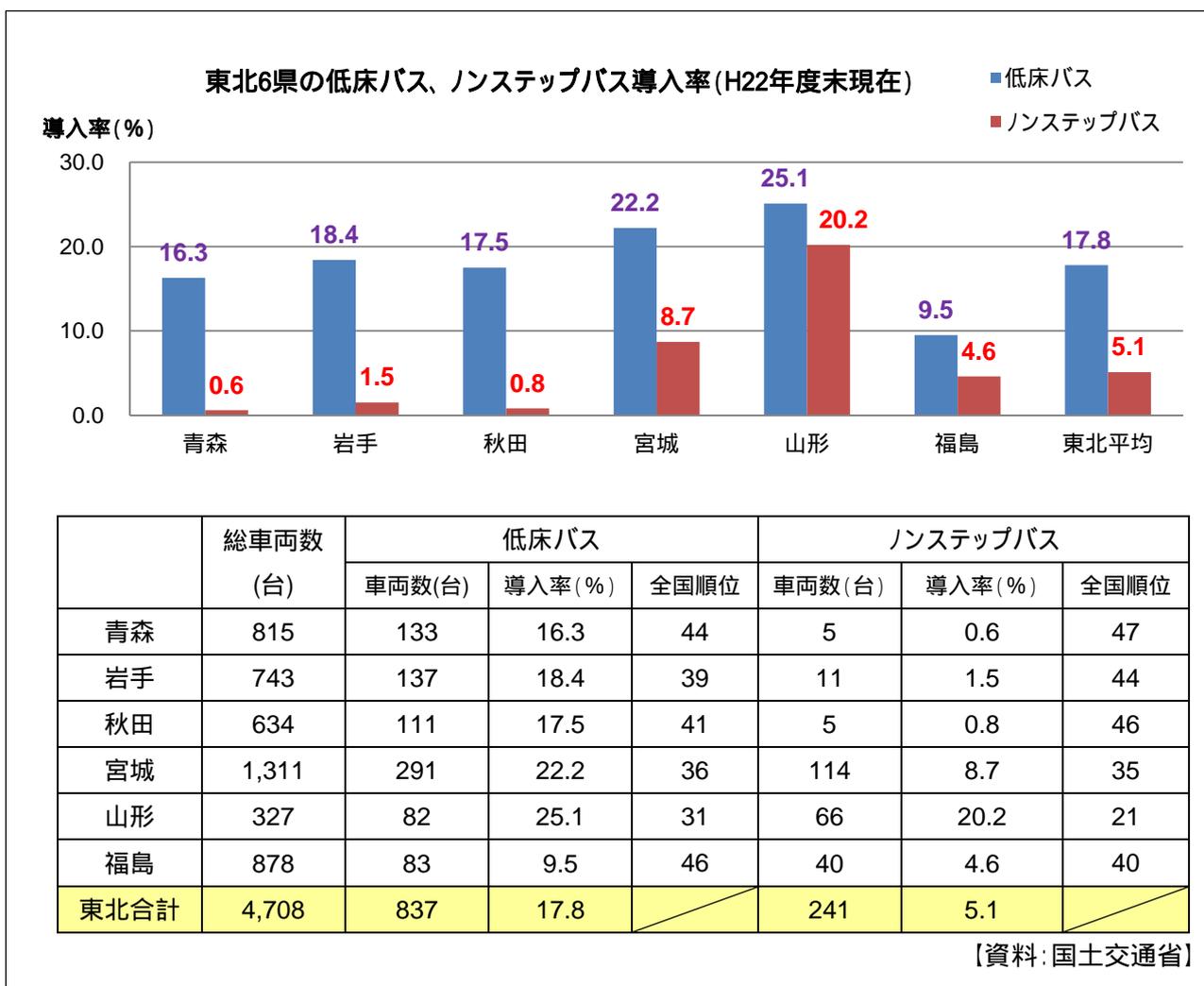
また、これら3地域に加えて北陸、中国及び四国では低床バスの中に占めるノンステップバスの比率が高いことがうかがえる。

下のグラフのとおり、東北地方のノンステップバス導入率は低床バスの導入率とともに全国で最も低く(沖縄除く)、同じ積雪地域の北海道や北陸地方と比較しても低い。



2. 東北6県におけるノンステップバス導入状況

前項では全国と比較して東北地域のノンステップバスの導入が遅れている実態が浮き彫りになった。さらに、東北地域内の各県別の導入率について実態をみたところ、その概要は以下のとおりであった。



上のグラフから、ノンステップバス導入率等に関する特徴として以下の点が認められる。

東北地方において、低床バス導入率は各県とも10～20%前後と大差がない。

ノンステップバスの導入率に限れば、山形県は20.2%と群を抜いて高い比率であるのに対して、青森県と秋田県は1%未満と極端に低い。

また、各県のノンステップバスの導入率を概観すると、東北北3県(青森、岩手、秋田県)の平均1.0%と南3県(宮城、山形、福島県)の平均8.7%との間で格差が認められる。